



地域おこし協力隊

観光地域づくり
支援担当

鮫名 星児
EBINA SEIJI

1982年生まれ。東京都出身。24歳の時に満員電車に耐えかねて漫画家を志す。東御市との出会いは旅行で訪れた巨峰の王国まつり。しかし巨ん太は知らなかった。

地域おこし 協力隊

活動レポート Vol.3



今年度、首都圏から5名が市内に移り住み、地域活動の新たな担い手「地域おこし協力隊」として従事しています。本コーナーでは、地域の活性化のため日々奮闘する隊員の活動をお伝えします。

東御市の「ストーリー」を探しています

地域おこし協力隊 鮫名 星児

地域おこし協力隊の鮫名星児です。市役所の商工観光課に所属し、地域のイベントに協力させて頂きながら発信していくことを担当しています。まんが家というキャリアがあるので、まんがやイラストを使った発信の方法も今後模索していきたいと考えております。

まだ東御市に来たから半年しか経っておりませんが、様々な観光イベントに参加させて頂かせて思うのは、まんがと観光はよく似ているなということです。まんがは読者、観光

は観光客という楽しむことを目的にしたお客様を相手にします。作家やスタッフはそれ相應の苦労はあれど、そういうものをお客様に感じさせては楽しむ気分を差してしまいません。そしていかに自分自身がそのものを好きであるかも大事です。まんがも観光地も様々な偶然から選ばれてお客様と出会います。広い世の中、他に良いものは多数あるにしたって、今の場この時では唯一無二なはず。それを提供する側に自信がなければ誰も好きになつてくれません。まず自分自身が好きになれるよう努力しなければならぬという点、本当にそっくりですね。

◀まんがで地域おこし協力隊の活動を紹介中!詳しくは市ホームページへ



そういった思い入れと
いう点では、私が今一番
お世話になっている場所
「北国街道海野宿」の住
民の方々は大変強いもの
を持っていらつしやると
思います。一番それを感じ
したのは5月に行われた
全国伝統的建造物群保存
地区協議会の大会で、街
道にずらりと立った幟に

対してでした。海野宿の母屋
の屋根よりはるかに高い幟で、
太い木の重厚感から歴史を感
じられます。この幟、住民の
方々が集まってものの15分
くらいで立ててしまいます。当
たり前のように集まって慣
れた手つきでさつさと立てて
いくその姿が、私には妙に美
しく思えて、伝統とか誇りとか
言葉に出さなくても感じられ
ました。こういったもの、もつ
と発信していきたいと思いま
す。

11月の海野宿ふれあい祭で
はまたこの幟が立ちます。「鮫
名というよそ者がやたら感動
した幟」という視点で見ても
るのはいかがでしょうか?

